

『東大塾 IoT 講義』（東京大学出版会）刊行記念

「すまう I o T」

～コロナ禍・デジタル化のなかで～

野城智也氏（東京大学生産技術研究所教授）

日時：2020年12月12日（土）14:00～15:30（講演 40min、Q&A 50min）

場所：オンライン開催（ZoomによるLive meeting）

対象：卒業生／修了生、在学生、教職員、グレーター東大塾関係者（講師・受講者）

定員：先着 300名 参加費：無料



新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、急速に社会のデジタル化が進展しており、在宅勤務や遠隔医療を始め、私たちの生活のあり方、仕事のやり方が大きく変貌しようとしています。

今回は、2018年秋に開催されたグレーター東大塾「すまうIoT—「コトのインターネット」へと進化させる技術群」の連続講座の書籍化を受け、今後の私たちの暮らしはデジタル化により、どのように変化していくのかをテーマに取り上げました。

あらゆるモノをネットワークでつなげるというIoT（Internet of Things）の構想は、いよいよ本格的に実現しはじめ、世界中の企業が次々と新たなサービスを生み出しています。デジタル化が進行するなかで、人と場所の関係や、「すまう」ことはどうなっていくのか、建築学、イノベーション・マネジメントがご専門で、塾長を務めて頂いた野城先生にお話いただきます。

東大塾 IoT 講義

喜連川 優 編, 野城 智也 編

ISBN978-4-13-063817-3,

発売日:2020年02月19日,,

判型:A5, ページ数:216頁

[主催] 東京大学社会連携本部

[共催] 東京大学出版会

野城智也氏（やしろ ともなり）東京大学生産技術研究所教授

1985年東京大学大学院工学系研究科建築学科専攻博士課程修了、建設省建築研究所研究員、武蔵工業大学建築学科助教授、東京大学大学院工学系研究科助教授を経て2011年より現職。その間に、東京大学生産技術研究所所長(2009-2012)、東京大学副学長(2013-2016)を歴任、日本建築学会論文賞及び著作賞、日本公認会計士協会学術賞などを受賞。サステナブル・ビルディング、建築生産・プロジェクトのマネジメント、イノベーション・マネジメントに関する研究や、住生活にかかわるIoTシステムの開発を展開している。

